

有形文化財 重要文化財(建造物)／国指定

きゅうさせはむせんてんしんしよ(はりおそうしんしよ)しせつ

旧佐世保無線電信所(針尾送信所)施設 [L-16]



大正11年(1922)に日本海軍によって建設された無線送信施設群である。中でも高さ136mの3本の無線塔は、当時の最高技術を集めた鉄筋コンクリート建造物といわれる。無線塔の中心に建てられた電信室は、半地下式一部2階建の鉄筋コンクリート造で、送信機器類や電源装置等を配置した中心的な役割を担った。その他、敷地内には見張所や油庫など多くの建物が現存する。4年の歳月をかけて完成した本施設には当時155万円を費やした。これは現在の約250億円に相当する。ちなみに無線塔1本には当時30万円、現在の50億円を費やしている。国内を代表する近代化遺産の1つである。



住 佐世保市針尾中町382

電 0956-24-1111

P なし

交 西肥バス 高畑バス停

案 団体での見学は要連絡

休 年末年始

